

# 桂 太郎関係文書

クレス出版

近代諸家文書集成 ⑦

マイクロフィルム 全19リール



# 『桂太郎関係文書』 刊行にあたって



第二次桂内閣組閣直後

今回ここに刊行するのは、陸軍大将・内閣総理大臣桂太郎の関係文書である。いうまでもなく桂太郎は明治から大正にかけての軍人・政治家として著名であり、しかも彼は長州藩出身で、伊藤博文、山県有朋を継ぐホープとして早くから着目されていた。いわば明治維新の第三世代を代表する人物である。

戊辰戦争で東北で戦った彼は、維新後すぐドイツに留学してプロイセンの軍制を学び、帰国後は山県有朋の庇護の下に陸軍の改革を断行、高い評価を得た。日清戦争を第三師団長として戦った後、台湾総督を経て第三次伊藤博文内閣の陸軍大臣に就任、明治三十三年まで四つの内閣の陸軍大臣を努めた。明治三四年、桂太郎は次世代のトップとして内閣を組織、以後明治末年まで三度首相に就任、世に云う桂園時代である。そして大正元年憲政養護運動の高まりの中で首相の座を退き、翌年捲土重来を期して立憲同志会を結成するも、志半ばで六七才の生涯を終えた。

この簡単な桂太郎のプロフィールを見ただけでも、明治政治史における彼の位置は想像できるであろう。桂太郎はまさに明治の四五十年間、一貫して権力の中心近くに座を占めていたのである。

この桂太郎の関係文書八五一点は、昭和二六年と三九年の二回にわたって桂家から国立国会図書館に譲渡され、爾来同館憲政資料室で閲覧に供され、多くの近代史研究者の利用するところとなった。特に本文書に含まれる桂太郎あてのさまざまな書簡は、桂が生きた時代の政治史の裏面を語るものであり、明治政治史の史料として第一級である。と同時に『公爵桂太郎伝』に引用されている書簡の原本校合を行なうと、伏せ字や脱落があることも判明する。しかしながら、同文書は原文書であるがゆえに利用に多くの制約があり、十全に活用できるとはいいがたい状況にある。

我々が今回「桂太郎関係文書」のマイクロフィルム出版を計画した理由はまさにここにある。とくに今回のマイクロ化に当たっては、桂太郎発信書簡を各種文書から抜き出し集大成した。本マイクロフィルムが明治政治史研究に、さらには日本近代史研究の進展に資するよう期待して止まない。

## 桂太郎関係文書全19リール構成

### 第1リール

#### 書翰の部

- 天岡 直嘉書翰
- 青木 周蔵書翰
- 荒川 邦蔵書翰
- 有松 英義書翰
- 浅井 道博書翰
- 後藤 新平書翰
- 花房 義質書翰
- 橋本 綱常書翰
- 松 了介書翰
- 平田 東助書翰
- 広沢 真臣書翰
- 土方 久元書翰
- 福原 実書翰
- 石部 虎三書翰
- 井上 光書翰
- 井上 馨書翰

### 第2リール

#### 書翰の部

- 井上 毅書翰
- 伊藤 博文書翰
- 岩倉 具定書翰

### 第3リール

#### 書翰の部

- 樺山 資紀書翰
- 香川 敬三書翰
- 加藤 高明書翰
- 川崎 祐高書翰
- 梶山 景介書翰
- 木戸 孝允書翰
- 木越 安綱書翰
- 清浦 奎吾書翰
- 児玉源太郎書翰

### 第4リール

#### 書翰の部

- 小松原英太郎書翰
- 児島 益謙書翰
- 九鬼 隆一書翰
- 黒田 久孝書翰
- 松方 正義書翰
- 三好 重臣書翰
- 毛利 元徳書翰
- 陸奥 宗光書翰
- 新山春太郎書翰
- 西 周書翰
- 野村 靖書翰
- 小川 又次書翰
- 岡部 長職書翰
- 大谷 光尊書翰

### 第5リール

#### 書翰の部

- 徳大寺実則書翰
- 徳川 家達書翰
- 上原 勇作書翰
- 内海 忠勝書翰
- 若槻礼次郎書翰
- 渡辺 廉書翰
- 渡辺 千秋書翰
- 山県 有朋書翰

### 第11リール

#### 書類の部

- 日清戦後経済事情
- 桂太郎辞令集
- 長州藩第四大隊軍規
- 奥羽鎮撫総督御宿陣行軍之次第
- 奥羽征討凱旋当時書翰断片
- 桂太郎書翰 石部録
- 郎宛
- 世良修蔵殺害始末
- 書翰断簡
- 第四大隊下士行賞一覽

### 第12リール

#### 桂家累代文書の部

- 中谷正亮贈位記
- 宮内省沙汰書
- 桂家由緒書
- 桂家歴代小伝
- 桂太郎葬儀関係書類

### 第16リール

#### 桂太郎発書翰の部

- 齋藤 実実書翰
- 阪谷 芳郎宛書翰
- 佐々 友房宛書翰
- 品川彌二郎宛書翰
- 杉 孫七郎宛書翰
- 立花小一郎宛書翰
- 都筑 馨六宛書翰
- 寺内 正毅宛書翰

### 第6リール

#### 書翰の部

- 山県 有朋書翰

### 第13リール

#### 桂家累代文書の部

- 感謝状
- 慰問之辞等

### 第17リール

#### 桂太郎発書翰の部

- 田 健治郎宛書翰
- 豊川 良平宛書翰
- 長岡 外史宛書翰
- 野村 靖宛書翰
- 花房 義質宛書翰
- 原 保太郎宛書翰
- 平岩 親徳宛書翰
- 平田 東助宛書翰
- 前田 正名宛書翰
- 牧野 伸頭宛書翰
- 松方 正義宛書翰
- 三浦 梧楼宛書翰
- 三島弥太郎宛書翰
- 陸奥 宗光宛書翰

### 第7リール

#### 書翰の部

- 山本権兵衛書翰
- 芳川 顕正書翰
- 宋 秉峻書翰
- 李 容植書翰
- 欧文書翰

### 第14リール

#### 桂太郎発書翰の部

- 明石元二郎宛書翰
- 安達 謙蔵宛書翰
- 荒川 五郎宛書翰
- 伊東巳代治宛書翰
- 井上 馨宛書翰

### 第8リール

#### 書類の部

- 桂太郎自伝稿本
- 桂太郎伝記参考書

### 第15リール

#### 桂太郎発書翰の部

- 大隈 重信宛書翰
- 大山 巖宛書翰
- 岡 市之助宛書翰
- 小川 平吉宛書翰
- 沖 守固宛書翰
- 尾崎 三良宛書翰
- 樺山 資紀宛書翰
- 川上 操六宛書翰
- 木戸 孝允宛書翰
- 黒田 清隆宛書翰
- 河野 廣中宛書翰
- 後藤 新平宛書翰
- 近衛 篤磨宛書翰

### 第9リール

#### 書類の部

- 桂太郎伝記参考書

### 第18リール

#### 桂太郎発書翰の部

- 山県 有朋宛書翰

### 第10リール

#### 書類の部

- 明治四十五年外遊関係書類

### 第19リール

#### 桂太郎発書翰の部

- 山根 正次宛書翰
- 渡辺 千秋宛書翰

## 桂 太郎関係文書

### 近代諸家文書集成 7

35mmポジティブロールフィルム 全19リール

別冊付

目録：国立国会図書館憲政資料室編

解説：宇野 俊一(千葉大学名誉教授)

年譜： 同 上

揃定価：391,400円(本体380,000円)

## 近代諸家文書集成ご案内

① 松 方 正 義文書 36リール

定価444,960円(本体432,000円)

② 勝 田 主 計文書 80リール

定価988,800円(本体960,000円)

③ 松 尾 臣 善文書 47リール

定価580,920円(本体564,000円)

④ 目賀田種太郎文書 9リール

定価111,240円(本体108,000円)

⑤ 曾 禰 荒 助文書 4リール

定価49,440円(本体48,000円)

⑥ 水町 袈裟六文書 8リール

定価98,880円(定価96,000円)

### 近代諸家文書集成目録

定価36,050円(本体35,000円)

### 総184リール、目録

揃定価2,310,290円(本体2,243,000円)



株式会社 **クレス出版**

〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋  
☎03(3808)1821 FAX03(3808)1822